

Be-News

Beppu University, Beppu University Junior College Magazine

別府大学のアツい想いをスクープ



別府大学
別府大学短期大学部

NO.128
2024 SPRING

Be-News

編集／別府大学・別府大学短期大学部 広報室 発行日／令和6年3月19日 印刷／株式会社 佐伯コミュニケーションズ
別府大学・別府大学短期大学部 〒874-8501 大分県別府市北石垣82 TEL.0977-66-6262(広報室)
禁無断転載



LINE



真理はわれらを自由にする

留学節

クローズアップ別大生
研究室訪問 学びのトビラ
地域連携

Be-Museum



《時間》

合澤 萌香 (文学部 国際言語・文化学科 芸術表現コース 令和5年度卒業制作)

全体の色合いの雰囲気やモチーフの配置も納得できた作品です。

綺麗にまとまっていて絵の中の時間や空間を感じられるので

《時間》とタイトルをつけました。

(油彩 サイズ183cm×92cm)

「ゆ〜たつち」とは「〜と言ったよ」という大分方言。地域の伝統と文化を後世に伝えたい、別府大学の今を届けたいという熱い思いを持って、大学生目線
で発信しています。学生メンバーが毎週ミーティングを重ね、コンテンツの企画からMC、録音、編集、配信まで行っています。また、言語研究に関わる教員が運営をサポートし、音声による情報発信について、学生らと探究しています。今後、もエピソードを増やしていきますので、どうぞお楽しみに！

参加希望の方は松田研究室まで!!

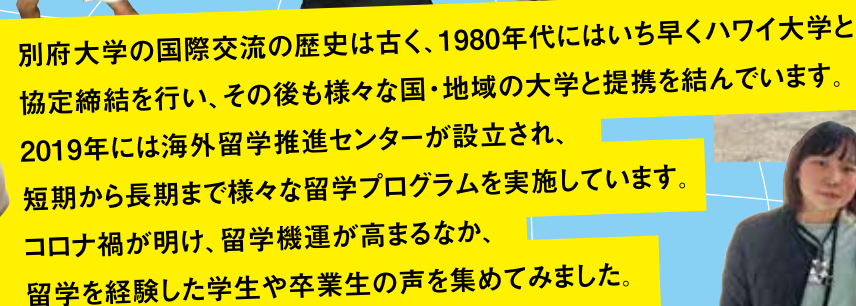
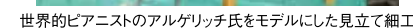


デザイン／国際経営学科4年 大野神奈さん



#1

大分市野津原地域の民謡「七瀬馬子唄」(平成元年頃発表)です。地元の方がふるさとを想い作詞、作曲しています。方言研究者の松田美香先生(国際言語・文化学科教授)が解説(聞き手:同学科4年チャウンジさん)。もう一つの話題は、別府市浜臨地区に伝わる「見立て細工」です。美術史の安松みゆき先生(国際言語・文化学科教授)が解説します(聞き手:発酵食品学科の三重野江先生)。大分に伝わる「音」と「細工」をなぞってみましょう。



03 Be-News

海外留学

センパイに聞く留学のスス×

海外留学にチャレンジしてみたいけど、不安なこともいっぱい。留学を経験した皆さんに集まってもらい、海外での貴重な体験談を語っていただきます。

それぞれの想いを胸に留学へGO！

金城 國夫 准教授(以下「金城」)／留学を決意するまでに至った経緯を聞かせてもらえますか。
大野 神奈(以下「かな」)／ニューヨークに赴任していた父と、留学経験のある中学校の先生から海外の話聞き、早くから留学を考えていました。ところが大学進学後にコロナ禍のため渡航ができなくなりました。オンライン留学だけではあきらめきれず、学外のプログラムでカナダのトロントに語学留学をしました。
大野 愛香理(以下「あかり」)／高

せっかく海外で暮らすんだから

校時代に家族旅行で韓国に行った時、思い通りに現地の人とコミュニケーションがとれなかったことが悔しくて、独学で韓国語を学び始めたのがきっかけです。美味しい食文化にも惹かれて(笑)韓国への留学を決心しました。
原 聡志(以下「さとし」)／英語を専攻しているので、現地で英語ネイティブの人たちと会話することでスキルを到達させたかったんです。教職課程の授業との兼ね合いも考えて、短期プログラムでハワイ大学へ留学しました。

ていました。私はあえて日本人がいない集まりを選んで参加してました。
さとし／どうやってみんなと仲良くなれたの？
あかり／日本人と聞くと、みんな興味を持ってくれました。別府から来たと言えば、温泉の話で盛り上がりました(笑)。

様々な国の文化を体感する醍醐味

金城／本学との提携が再開したばかりのハワイ大学はどうだった？

さとし／午後から夕方までが授業で、午前中はゆっくり過ごしてました。授業は留学生向けのプログラムで学びました。大学へは歩いて行ける距離で、帰りによくワイキキビーチのベンチで、ぼーっと夕陽を眺めてました。ハワイならではの贅沢な時間でした。

金城／日本の文化とは、ずいぶん違うからね。
さとし／ホストファミリーと過ごすうちに、血縁関係を超えた「家族の絆」を感じる「オハナ」文化にも驚きました。最初は違和感があったのですが、次第にハワイの人たちの価値観や判断基準がわかり、スケールが大きくて素晴らしい文化なんだと考えをあらためました。

金城／なるほど。他の皆さんも留学を経験して、自分の中で何か変わったことはありますか。
かな／私はルームメイトと喧嘩したことがあります。私の伝え方が悪かったのか、誤解を与えたみたい。いろいろな国の人たちとコミュニケーションをとるの、誰が聞いてもわかるように、言葉の使い方には注意しなければならいなど、反省しました。
あかり／韓国人は自分の意見をハッキリと言うので、日本人のように曖昧なやりとりをしてい

金城／留学生生活はどうでした？
かな／授業は朝8時から午後1時まで。放課後は現地の学生との交流会に参加していました。終わってから帰るのがもったいなくて、友だちとトロント市内へ夜ごはんを食べに出かけてました。帰ってから寝るだけでしたね(笑)。

金城／どんな所に住んでいたの？
かな／最初の2ヶ月はホームステイ、後の4ヶ月はネットで見つけたシェアハウスでした。部屋は狭いけど女子専用で家賃も安く、いろいろな人と過ごせて、各国の料理交流もしました。困ったことはトイレと鏡が一緒のシャワールームが2つしかない、毎朝長く使う人がいたことかな(苦笑)。

あかり／私はキャンパス内にあるキッチンなしの二人部屋の寮でした。とにかくキャンパスが広い大学で、坂道を毎朝30分かけて歩いて通ってました。朝10時から午後4時まで授業を受講していて、夜には別府大学のオンライン授業も受けていました。
金城／かけもちでの受講は大変だったのでは？

あかり／韓国とは時差がないから大丈夫でした(笑)。週に一回、現地の学生と留学生の交流会が開かれ、積極的に参加し

ると、行き違いが起こりかねないと思いました。その影響もあってか、以前は苦手だった大勢の人の前で自分の意見を発言することが楽しくなりました。

オフの日を思いきり使いこなそう

金城／休日の過ごし方は？

かな／週末は日系人の子供たちに日本語を教える学校でボランティアをしていました。教会で開かれていたミートアップ(交流会)にも、毎週参加していました。子どもたちや文化が違う国の人たちと英語でコミュニケーションをとる中で、学ぶことが多かったですね。

金城／授業では学べないことを知る機会になりそうですね。
あかり／私の大学は郊外にあったので、現地の友だちと毎週バスで1時間かけてソウルへ出かけてました。お気に入りのお店があって、そこで出される「サンナッチ」というタコの踊り食い料理が美味しくて楽しめました。
さとし／短期留学だったので、「せっかくハワイに行くんだから」と事前にチェックしていた所に足を運んでました。ホストファミリーや地元で知り合った

人にも、お勧めの場所を教えてもらいました。ダイヤモンドヘッドより高いココヘッドという山にも登ったんだけど、思いのほかハードでフラフラしながら帰ってきました(笑)。

留学で得ることは必ずある！

金城／これから留学を考えている在學生にアドバイス。
かな／留学をするかどうか悩むことは多いだろうけど、決めるのは自分だし、チャンスを作るのも自分です。ぜひ挑戦してほしい。
あかり／楽しいばかりじゃなく、苦労することも多いので、何が起きても大丈夫という覚悟は必要です。でも留学先で得るものは絶対にありますよ。
さとし／たとえ短期間であっても、留学を機に、いろいろ考えるきっかけが生まれます。きっと何か気づきを得るから、日本に帰ってから何に対しても新たな気持ちで取り組めるようになると思います。

留学の思い出



大野 神奈 さん
カナダで知り合った友達やホストファミリーに、寄せ書きを書いてもらいました。



大野 愛香理 さん
留学を終えていただいたメッセージと、みんなで撮った写真は宝物になってます！



原 聡志 さん
ワイキキビーチで友人と過ごした時の写真。毎週金曜日の花火大会も楽しめました。



SIPS presents English Cafe

Let's TRY!!

って何やってるの？

英会話には自信があったけど短期留学先のハワイで勉強不足を実感しました。SIPSの仲間たちと身につけた英語の楽しみ方は卒業後も役立ちそうです。

（文学部 国際言語文化学科 4年）
石川 倭成さん

卒業後は
中学校の
英語教師へ

目指せ、全問正解！

※解答は下段枠外

QUIZ
1

baseball

ヒント みんな大好きな人気スポーツ

QUIZ
2

dictionary

ヒント 困った時に頼れる存在です

QUIZ
3

birthday

ヒント 毎年楽しみにしていますよ

QUIZ
4

beautiful

ヒント え、私のこと？ テレなな

QUIZ
5

happiness

ヒント いつもこんな気分だったらいいね

QUIZ
6

超難問！

ヒント ●●エンジンだけで
乗り物ではない

留学を考えているけど英語がちょっと…と悩む別大生に参加をオススメしたいのが「English Cafe」！「英語を話す機会を学内中にあふれさせよう」「英語に対する恐怖感を減らそう」と願う「SIPS」のメンバーが、趣向を凝らした企画で英語を身近に感じさせてくれます。

今回紹介するのは、1/3だけ表示した英単語から正解を当てるクイズ式のゲームを取り入れた「English Cafe」。参加した学生は、先生も交えながら楽しく英語を体験できました。このほかにも身近なテーマで語り合う「ゆるふわ英会話」、質問や疑問をなんでも聞ける「英語かけこみ寺」など楽しい企画が盛り沢山！

本学の学生なら誰でも参加できるので、まずは顔を出してみませんか？



当日の参加者



全国の学生と交流したSIPSの情報交換会

職員が、「English Cafe」を通じて気楽に楽しく英語と触れる機会を提供しています。2023年9月には東京都で行われた情報交換会にも参加し、他大学のSIPSチームと交流しながら各大学の事例や大使館・州政府の留学最新情報等を学びました。

SIPSメンバーの活躍に注目です！

台湾留学を考えている
城 百花さん
（文学部 国際言語文化学科 3年）

高校時代に
海外へ興味を持った
日高 涼さん
（文学部 史学・文化財学科 1年）

What's SIPS?

「SIPS」とは文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」事務局が実施する、留学機運を高めるプラットフォーム事業。全国の大学から参加する学生+大学職員のチームが、工夫を凝らした活動を実践しています。本学でも学生と海外留学推進センター

別府大学では、2019年度から新しく留学制度がスタートしました。これからの時代を柔軟に生き抜く人材の育成を目指して、海外の大学と協定を結び、積極的な学術交流を進めています。実際に外国の文化に触れ、異文化を理解するとともに語学力向上を図ります。

留学
支
援

みなさんのチャレンジを応援！

単位
認定

上限 30 単位
※長期1年の場合

授業料
等免除

留学先大学や別府大学の
授業料が免除される
プログラムがあります。

渡航費
等支援

最大 30 万円
※ヨーロッパ長期の場合

※詳細はプログラムによって異なりますので、お問い合わせください。 ※奨学金を申請できるプログラムもあります。

主な留学先大学

※2024年2月現在

長期：半年、1年間
短期：約2週間～約2か月

アイ
ル
ラ
ン
ド



リメリック大学

アイルランド第三の都市リメリックにある国立大学。中世の史跡や文化施設も多く、落ち着いた街の雰囲気です。海外からの学生の受け入れに積極的で、現地の大学生と交流する機会もあります。

ア
メ
リ
カ
合
衆
国



ハワイ大学

別府大学と縁の深いハワイ大学。年間を通じて温暖で過ごしやすく、開放的な雰囲気が魅力です。対話中心の授業で英会話能力を高めることができます。また、課外活動でハワイの文化に触れ、異文化理解を深めることができます。

大
韓
民
国



水原大学校

ソウル市南、京畿道華城市に所在する10学部、14大学院の充実した学びの環境を整えた私立総合大学。別府大学とは2013年から交流を始め、現在まで多くの学生が留学プログラム、交流を行っています。サムスン電子を中心に韓国の製造業メーカーが密集しており、ソウル市中心部へのアクセスも便利です。

フ
ラ
ン
ス



ポール＝ヴァレリー・
モンペリエ第三大学

ヨーロッパの中でも歴史がある大学で、別府大学では1999年から学術交流を行っています。落ち着いた雰囲気の街並みで、南仏の温暖な気候で過ごしやすさの魅力。近郊には世界遺産も数多くあり、南仏の歴史や文化にふれることもできます。

長
期

日本のアニメが
大好きです!!
沖縄エイサー
団に所属して
います!

モンペリエ大学からの
交換留学生を機に
別府大学に入学

ビノ・エステバンさん
（文学部 国際言語文化学科 2年）

台
湾



宏国徳霖科技大学
（英語クラス）

台湾で英語を学ぶプログラムです。応用英語学科の授業に参加しながら英語力アップを図るとともに、多彩な専門の授業に参加したり、近郊へ観光に出かけたりするなど、充実した研修内容になっています。



応募資格や期間、募集人数、実績などは、別府大学webサイト内「海外留学推進センター」をご確認ください。

別府大学からの情報発信 活力ある大分経済の実現のために必要なことは何か 01

国際経営学科

わが国において地域創生・地方創生が叫ばれて、かなりの時間が経過しています。大分も同様に、活力ある大分経済を実現することが、大分の地域活性化に直結していきます。そのためには大分に住む人々が地域の問題点を認識することが重要



多くの方々にご参加いただきました！

です。特に、次世代の地域経済を担う、若い人たちが地域経済の問題点を認識する必要があります。別府大学は長年、大分・別府の地に根差している大学です。そのため、本学の学生には大分の次世代の地域経済を担ってい

く人材になつてもらいたいと考えています。そこで、国際経営学部は、学生に大分の問題点を認識してもらい、地域活性化のために意見発信し、行動してもらうため、令和5年12月21日に国際経営学部主催フォーラム「別府大学からの情報発信 活力ある大分経済の実現のために必要なことは何か」(後援…大分経済同友会)を本学メディアホールにて開催しました。当日は国際経営学部の学生(3年生)と多くの一般の方々にご参加いただきました。

フォーラムでは後藤康男氏(株式会社城島高原オペレーションズ代表取締役会長)、古城一氏(株式会社古城代表取締役)ならびに本学の高木正史教授(国際経営学部長)の3名が登壇し、大分経済に対して食、交通、観光、DX、人材など様々な視点から問題提起を行った後、学生とのディスカッションを行いました。学生からは「交通インフラが不足しているためレンタカー事業を充実させる必要がある」「大分は若者にとって変化が少ない」「大分に対する愛情がある人や魅力を知る人だけではない」といった意見が出されました。



学生からも様々な意見が出されました



手前から後藤康男氏、古城一氏、高木正史教授

く県外の事情を知っている人材も重要」など、学生ならではの視点から多くの意見が出されました。また、来場した企業経営者や地元企業で活躍している卒業生からは、「別府に若手が起業できる場所があれば大分経済が活性化できるきっかけになる」「大学生は4年間、一生懸命大分県内を回ってSNSで発信して欲しい」など若手の起業や大学生の県内旅行に期待する声も上げられました。



留学、その先へ

在学時に海外留学をし、その経験を活かして活躍している卒業生にインタビュー！ 当時を振り返りながら、留学を経て感じた自身の成長や変化、そして現在について語っていただきました。

Beppu University, Beppu University Junior College

経験を糧に得た自信とチャレンジ精神

台湾の食文化にとっても興味があったので、大学4年生の時に「トビタテ！ 留学 JAPAN 地域人材コース」を活用して台湾の元培医事科技大学に1か月留学しました。この留学をきっかけに、台湾の大学院に進学することを決意し、現在は台湾の輔仁大学の博士課程で「病原菌と乳酸菌の相関性」について研究しています。

大学院に進学後、中国語クラスに参加したり、台湾人の友達に日本語を教える代わりに中国語を教えてもらうなどして中国語を勉強しました。中国語はもちろんですが、論文を

書くうえで英語の表現力も試されるので、英語の勉強は必須だと思います。

海外で生活していると本当に色々なことが起こりますが、全ての出来事が自分の糧となり自信につながっていると感じます。

私自身、初めは海外で一人暮らしということでも不安でした。でも友人の支えもあり、飛び立つ勇気とチャレンジ精神で一步踏み出すことができました。留学を通して新しい環境で様々な人に出会い、その国・土地の文化や風土を存分に楽しんで欲しいと思います。お土産はその人らしい夢と目標です。

台湾・輔仁大学博士課程在学中
河野 共喜さん
(食物栄養科学部 発酵食品学科 卒業)
留学先 台湾
元培医事科技大学



元培医事科技大学の食品科学学科のクラスメイト

Beppu University, Beppu University Junior College

言語に対する価値観を変える貴重な経験

大学3年生の秋に、イギリスのウィンチェスター大学に留学しました。1年間の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、急遽半年で帰国。予定より短い滞在になりましたが、留学は言語に対する価値観を変える貴重な経験になりました。

IFPコースは、本科への入学を見据えたクラスで、高い語学力が求められます。留学前は、留学要件となるIELTSのスコア獲得のため必死に勉強しました。また、実際に留学してからも課題が難しく、深夜まで図書館に籠ることもありました。一方で、フットサル部で

仲間と交流したり、寮生活を過ごす中、英語でのコミュニケーションの楽しさを実感しました。発音や文法も大切ですが、それよりも相手に伝えたいという気持ちのやりとりこそが、言語の楽しさだと気づかされました。言語は人と人をつなぐ架け橋です。英語でつながることで、文化や考え方の違いを、受け止められるようになったと思います。

中学校でも英語が苦手な生徒が多いです。自分の留学経験を活かして、語学を通じたコミュニケーションの楽しさを伝えたいと思っています。

大分市立南大分中学 英語科教員
矢野 悠斗さん
(文学部国際言語・文化学科 英語・英米文学コース卒業)
留学先 イギリス
ウィンチェスター大学IFPコース



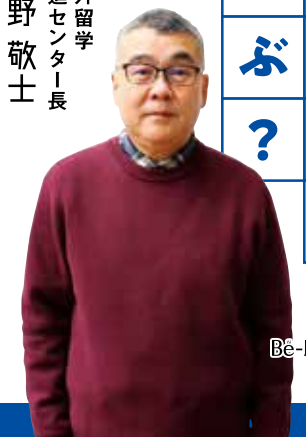
留学中お世話になった先生方と

海外生活を経験しただけで、外国語での意思疎通の成功談を自慢げに語り、身も心もその国に染まったあげくに「これだから日本人は…」などと上から目線で訓示をたれる人がいます。逆に、他言語の圧力を怖れ、読むか聞くかで得た知識だけで諸外国の問題点をあげつらい、「日本が一番快適なのに、なぜ外国？」と奇妙な悟りを開く人もいます。身近にいると、正直どちらも迷惑な人たちです。

だけど、誰かに「どちらかを選べ」と脅されたら、僕は前者―「海外経験尊重主義者」―を即座に選びます。僕自身、「経験の裏打ちがない知識」に逃避した青年時代を後悔しているからです。若い時分に不安を克服し海外に飛び込んでいたならば、辛いこともあったでしょうが、その何倍も楽しいことがあっただろうに、と思っています。

しかし、せっかく貴重な経験をした学生が迷惑がられては残念なので、海外留学推進センターでは、「留学を有意義なものにする準備」「異文化を多角的に判断する力」「海外経験をキャリアに活かす方法」などを皆さんにお伝えするようにはしております。

海外留学推進センター長
山野 敬士



ど
つ
ち
を
選
ぶ
？

3コースすべてで教員採用試験に合格!!

9名が春から先生に



左から久保さん(美術)、古田さん(英語)、佐伯さん(国語)

三人全員が最も苦勞した点として挙げたのは「二次試験の面接対策」でした。国際言語・文化学科は教科教育法担当の教員を中心に、来年以降も「面接対策」をさらに充実させ、令和5年度に並ぶ成績を採用試験で収めることを目指します。

国際言語・文化学科はこれまで多くの教員を輩出してきました。12年連続で合格を勝ち得ている日本語・日本文学コースを中心に、教員採用試験の実績を毎年確実に高めて来ましたが、令和5年度は英語・英米文学コース、芸術表現コースでも合格者があり、3コースすべてから計9名の学生が4月から教壇に立ちます。大分県内だけでなく神奈川県や熊本県でも合格者が出ました。教員になった先輩方の話を聞く「講演会」を実施し学生の教職に対する意識を高め、「採用試験対策講座」「二次試験の模擬授業練習」「面接練習」などを拡充させてきた学科の試みもありましたが、何より

もそれらの企画に熱心に参加し、自己研鑽を積み重ねてきた学生たちの粘り強い努力が今回の大躍進を成し遂げたことは言うまでもありません。今回は、その中から3名の学生に話を伺いました。「中学の担任教員に憧れ教職を志した」佐伯朋華さん(日文・大分県中学)は「生徒とともに成長する教員」を目標に努力を続けるそうです。「友達と一緒に助け合いながら勉強すること」が、古田珠衣璃さん(英文・熊本県中学)、久保幸彦さん(芸術・熊本県中学)に共通する「採用試験成功の秘訣」です。古田さんは「生徒目線を忘れず笑顔を保ちたい教師」を、

06 温泉水あまざけ 大好評!!

発酵食品
学科

「第23回竹と月夜の調べ」

伝統的工芸品「別府竹細工」に親しんでもらう「第23回 竹と月夜の調べ」が、10月28日に別府市竹細工伝統産業会館で開催されました。当日は少し風がありましたが、天気にも恵まれ、きれいな月光の下で、幻想的な竹あかりによる装飾と、竹かご実演や演奏会などのイベントも行われ、約400名の方が来場しました。発酵食品学科からは、同学科の4年生3名が参加し、来場者へ学科で開発した「温泉水あまざけ」を無料で配布をしました。1時間程度で約150杯のあまざけを配布することができました。来場者からは「おいしかった」「飲



「温泉水あまざけ」大好評でした!!

「日本史実習」の 都甲地域調査合宿

フィールドワークでのGISの活用

史学・文化財
学科

史学・文化財学科の「日本史実習」では、12月26日から27日まで、豊後高田市都甲地域で現地調査合宿を行いました。令和5年度の授業では、大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館(現大分県立歴史博物館)が30年以上前にまとめた旧豊後国都甲荘の調査報告書所収の地理情報をGIS(地理情報システム)でデータ化しました。合宿当日は、GISで作成した寺社の分布データをスマートフォンに読み込み、自分たちが作成したデータの位置に文化財が実際に存在するか、作成データの精度を確認しながら都甲地域を歩きました。また今回の合宿は「埋蔵文化財実習(考古学)」と合同で行われ、学生たちにとって、貴重な交流の機会となりました。



学生が作成したデータ(本記事用にGoogle Mapsの画面の一部加工)

05

食物栄養学科キャリア支援講座2023

「ようこそ先輩・卒業生と語ろう」



自身の経験や学生へのアドバイスをいただきました



先輩の話を真剣に聞く学生たち

食物栄養学科は令和6年4月に開学23年目を迎えます。その間に1400名近くの卒業生を輩出し、行政、医療機関、社会福祉施設及び児童福祉施設、研究機関等の分野でそれぞれ活躍しています。令和5年9〜11月にキャリア支援講座「ようこそ先輩・卒業生と語ろう」として、病院、自衛隊、小学校(栄養教諭)、行政の分野で管理栄養士の専門性を発揮し、地域に貢献している4名の卒業生

の講演会を本学科の全学生対象に開催しました。事前に在学生から募った質問に対しての回答を講演の内容に盛り込んでもらい、大学生活で取り組んでほしいこと、社会人としての心構えなどを話してもらいました。参加した在学生からは「学び続ける姿勢の大切さ」「今、学んでいることが今後仕事をする上で役に立つことがわかった」「管理栄養士という資格があれば仕事の選択の幅が広がる」「食のスペシャリストとして幅広い知識を身につけたい」などの前向きな感想が多く寄せられました。夢に向かって挑戦し続けている卒業生の体験談を直接聞くことは、在学生自身の「キャリア・これから」を考える良いきっかけになったと思います。

身近なテーマで心理学を学ぼう!

高校生のための心理学講座

03

人間関係
学科



心理学へのイメージ変わりましたか?

令和5年11月25日に、別府大学メディア教育・研究センター4階メディアホールにて「高校生のための心理学講座」を開催しました。心理学に興味のある高校生、進路に悩む高校生、心理学の知識を現場で活かしたい教職員、保護者や、一般の方の参加を対象に開催し、当日は約40名が参加しました。5人の講師が、「集団の力の心理学」「自己理解の心理学」「頑張ることと心の健康」「健康に生きるためのポジティブ心理学」「心理学を活かした進路」などのテーマで、各50分の講義を行いました。

クラス集団の中で自分はどういう影響を受けているのか、自分はどういう自分なのかわかっているのか、生き生きと生きるためには何が必要か、心理の資格や職業にはどのようなものがあるのかなど、高校生にとって身近なテーマでわかりやすい講義が行われました。参加者からは「心理学への興味が強くなった」「資格についてよく理解できた」などの感想が寄せられました。今後も心理学についての理解を広げていく活動を行っていききたいと思います。

別府大学 卒業制作展 2024

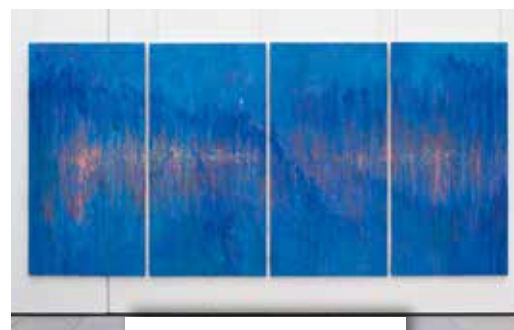


2024年2月6日(火)～12日(月・祝)に、大分県立美術館にて、国際言語・文化学科の芸術表現コースによる卒業制作展が開催されました。絵画、デザイン、マンガ、映像・アニメーションの領域で学んだ25名の学生が、4年間の集大成として制作した54作品を展示しました。

※「Be-Museum」(裏表紙)で、合澤萌香さんの作品を掲載しています。



羽田野 桃香《大分っ子色タカルタ》



吉田 未知《認識》
(183cm×375cm 油彩)



河村 春香《くまさんとうみん》
(ストーリーマンガ)



近藤 美羽《海辺の残骸群》
(ストーリーマンガ)



張 震《KARASU》
(3D CG アニメーション)



高崎 雅子《Wel,wel...》
(キャラクターデザイン)



佐藤 理子《心の内》
(F100号 油彩・発泡スチロール・折紙 他)



亀田 虎太郎《ドキュメント》
(F100号 油彩)

「おんせん∞演劇祭inビーコンプラザ」に出演しました みんないっしょに～こども広場～

07

短期大学部
初等教育科

ハンドベル研究会の演奏

初等教育科研究会一覧

- ハンドベル研究会 ■保育研究会ピコロ
- 授業研究会 ■お話し研究会ともだち屋
- ハンドメイド研究会あっぷりけ ■特別支援教育研究会コネクト
- 子育て支援研究会びすけっとくらぶ ■子どもヘルスプロモーション研究会
- 造形研究会 ■表現研究会
- 外国語文化研究会



「よいクリスマスを！」笑顔の子どもたちをみんなでお見送りしました



子どもたちと一緒に、歌って踊って！

令和5年12月2日、劇団立見席プロデュースの「おんせん∞演劇祭inビーコンプラザ」が開催され、初等教育科研究会が「みんないっしょに～こども広場～」を担当しました。当日は別府市内の保育園の園児、お子様連れのご家族が合わせて50名ほど来場されました。ステージではハンドベル演奏に始まり、パネルシアターや絵本の読み聞かせ、ダンス、劇など、学生たちは日頃の研究成果を存分に発揮しました。その後の造形ワークショップでは、学生たちが色画用紙で作ったクリスマスリース、ブーツ型のバッグに、子どもたちが思いの飾り付けを楽しみ、素敵なバッグができました。会場全体で記念撮影をするなど、子どもたちとともにクリスマスに向けて、楽しいひとときを過ごすことができました。

学生考案のおにぎりが 「コープおおいたのキッチンカー」で販売されました！

地元食材を使ったオリジナルおにぎり



コープおおいたのキッチンカーとスタッフのみなさんと



販売されたおいしそうなおにぎり



販売のお手伝いも行いました

令和5年9月30日・10月1日の2日間、「OAB感謝祭」に出店したコープおおいたのキッチンカー「むすびや」(場所…大分こいの道広場)で学生が考案したおにぎりが販売されました。ゼミ所属の1年生が、両日ともにおにぎり販売を手伝いました。販売されたおにぎりは「関ブリのサクサク味噌カツサンド」「戸次ごぼうの甘辛おにぎり」「やせうま風紅はるかのおやつおにぎり」「とり天甘酢ドッグ」「まるごとトマトの肉巻きツイスト」の5種類です。

これは、令和5年9月7日に学内で開催された、コープおおいたの企画の「Bond Chefプロジェクト」で選ばれた作品をもとにしています。夏季休暇中に学生たちが試行錯誤を重ねて開発したおにぎりは、アイデア・美味しさともに大変好評でした。

学生たちは自分たちで考えた商品を販売することができて、大きな喜びを感じたとともに、責任を持つお客様に提供できるおにぎりを作ることや、スムーズに商品の受け渡しをする大変さなど多くのことを学びました。



シャキーン



別大グランプリ

特別ゲスト!
ジグザグジギー



沖縄エイサー団

第78回

テーマ

魂動

こど



軽音サークルライブ!!

寒さ我慢大会



学生も
コントに挑戦



世界一位の
バトントワリング

別府大学 学生広報
Vinculum



ウィンクルム
インスタグラム

学生広報ウィンクルムはより多くの人に大学の魅力を知ってもらうため、Instagramを通して大学と周辺の情報・イベント情報などを発信しています。今回の石垣祭ではウィンクルムを広く知ってもらうためInstagram (旧Twitter) をフォローするとガラポンが回せる模擬店を実施しました。手作りの学科別のオリジナル缶バッジに加え、香りの博物館や発酵食品学科の先生方から、入場券やお米を景品としてご提供いただき大盛況のうちに終了しました。準備や当日の活動を通してメンバー同士の絆もより深まりました。今後ともウィンクルムの活動にご注目ください!!

ガラポンを
出店!



クッキー作り



カラオケ
大会



型の演武



推しが尊い♡



焼きそばおいしいよ~

11.3 11.4 SAT



ドリンクも
あるよ~



◆佐藤 夏恋さん (大分県立大分商業高等学校出身)

本学で栄養士と栄養教諭免許を取得した佐藤夏恋さん。市内の保育園に就職が内定しています。研究会活動や、教育実習、先生との思い出など楽しい2年間を振り返ってもらいました。

進学のきっかけや栄養士を目指した理由を教えてください

昔から子どもが好きで、食べることも大好きでした。高校生の頃、家庭科の授業で「子どもの朝の欠食が増えている」という事実を知って、食事で子どもをサポートする仕事がしたいと思ったんです。食や栄養についての勉強ができ、栄養士や栄養教諭の資格が取得でき、なおかつ調理実習が多い学校を探して別府大学短期大学部食物栄養科に進学しました。

実際に調理実習をしてみて、どうでしたか？

和食、中華、洋食、韓国料理など本格的な料理をたくさん作りました。入学前はお菓子作りしか経験がなかった私ですが、今では魚もさばけるし、リンゴの皮もスルスルとむけるようになりましたよ(笑)。実習で作った鶏めしがおいしくて、今でも実家でよく作ります。

小学校の教育実習で授業も行ったそうですね

実習期間に、和食の大切さについての授業をしました。一汁三菜、栄養バランスがよいこと、ユネスコ無形文化遺産になっていることなどをお話したんです。児童のみんなが真剣に聞いて、質問してくれました。所属している研究会では、佐伯市に行って麴について学び、地域振興のための新メニューを考案。また、朝ごはんの大切さを説いた「朝食パンフレット」を作成し、小学校でその授業も行いました。小学生の頃のダンスや、高校生の頃のマーチングバンドの経験が活き、大勢の前でも緊張せず授業できたと思います。

大学での先生や友人とはどう過ごしましたか？

とにかく先生が話しやすく、勉強や進路、悩みからくだらない話までなんでもおしゃべりでできて楽しかったです。先生の部屋によくお邪魔しました。友人とも仲がよく、休みの日には食べ歩きをしたり映画を観たり、一緒に旅行したり。本当に学ぶこともたくさんあったし、楽しくて充実した学生生活でした！

進学を考えている方にメッセージをお願いします

私はこの大学に入って本当によかったと思っています。知らないことをたくさん学び知識を得て、調理実習等を通して技術が身につきました。進路や勉強について悩んでも、必ず先生たちがアドバイスをくれます。研究会を通して、今までにない経験もできると思います。特に栄養士を目指す人には、調理をする機会がとても多いのでおすすめです。調理ができなくても大丈夫。包丁を握る機会が多いので、卒業までには一通りできるようになります。できないときも、先生がしっかり教えてくれるから安心してください。意欲があれば、たくさん学べる環境があります。



実習先の学校では、和食の大切さや素晴らしいことについて授業しました



長期休暇には、友人と東京旅行。ディズニーランドや観光を楽しみました

Close up! 別大生

クローズアップ

キラリと輝く
別大生を
紹介します。

◆渡邊 結愛さん (大分県立由布高等学校出身)

「2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会」に出場し、「アーティスティックワール種目シニア(18～21歳)部門」で優勝を飾った渡邊結愛さん。アスリートとして練習に打ち込む一方、大学生活を謳歌する日々についてお聞きしました。

バトンを始めたきっかけを教えてください

小学2年生のときイベントで初めてバトントワーリングを見て興味を持ち、教室に行き始めました。多分。小さかったので、実はあまり覚えていないんですよ。最初の頃は週に1回ほど、今は毎日のように3～4時間練習しています。小学6年生ではじめて全国大会に出場し、そこから本格的に打ち込みました。昔は毎日練習で遊べなかったり、練習でうまくいかなかったりして、やめたいと思ったことが何度もあったんです。でも、全国大会に行かないと会えない友達もいるし、何とか続けてきました。

世界大会で優勝を経て、変化はありますか？

まさか自分が日本代表に選ばれ、世界大会に行けるとは思っておらず、本当にびっくりしました。しかも、まさかの優勝で、嬉しいよりも驚きの気持ちが勝っていたかもしれません。バトンの先生にはいつも「感謝の気持ちを大切にしよう」と教わってきました。最近ではバトン以外でも、感謝の気持ちを持てるようになったと思います。大きな大会に出場するようになり、以前よりも精神的に強くなりました。練習を積み重ねてきた日々があるから大丈夫と感じられ、大会前も以前より緊張せず落ち着いていられます。

世界で活躍される渡邊さんですが、なぜ別府大学を志望したのでしょうか

正直、特別行きたい大学というのがなくて。高校の先生に公務員になる道を勧められ、県内で公務員を目指す学校を探して、別大に決めました。入学してから友人もでき、楽しみながら授業を受けています。特に観光学などがおもしろいですね。自分が生まれた大分県について、今まで知らなかったことを勉強できています。大好きな温泉などが取り上げられると嬉しいです。

将来はどのような道に進む予定ですか？

今後については、まだはっきり決めていません。大学2年生からはゼミが始まるので、楽しみにしています。バトンとは別の道に行ったら公務員になるか、それ以外を目指すか考えている最中です。これから先生方と話をしたり、勉強したりする中で見つけていきたいと思っています。

進路は検討中なんですね。同じように進路に悩む方に一言お願いします

私の場合はバトンですが、自分の取り組んでいることと勉強を両立できる環境が、整っているのが別大です。将来の選択肢が決まっていなくても、たくさんの道が開かれています。周りには人生経験豊富な先生がたくさんいらっしゃって、サポートしてもらえます。明確な目的がない人や、将来について決まっていなくてもおすすめの学校です。



世界大会の優勝を二宮理事長にも報告しました



石垣祭のステージも友人が応援してくれました！



発掘現場に掲げていた考古の旗



別府大学が1951年に女子大学として創設され、12年後の1963年に今日の史学・文化財学科の前身である史学科が産声を上げました。それは東京オリンピックの前年で、世の中は高度成長時代の真っただ中。都市開発ラッシュの中で、皮肉にも考古学に光があたることになりました。これ以後、史学科は、西日本において多くの有能な人材を世に送り出し、特に、九州では、どの自治体にも別府大学出身の文化財担当者、学芸員がいるという状況になりました。

創設の原点を受け継ぎ、歴史的視点を学び、未来を生き抜く力を育成していきます。



史学科教員(1982年)

60周年記念企画を実施しました。

史学研究会大会 史学・文化財学科 創立60周年記念大会

2023年11月11日(土) ※アジア歴史文化研究所共催

会場

別府大学32号館500番教室

記念公演①

飯沼 賢司 特任教授
「別府大学の博物館と
史学科—草創期の動向—」

記念公演②

山本 晴樹 名誉教授
「史学・文化財学科の60年と
国際学術交流—日仏共同研究を中心に—」



史学・文化財学科 創立60周年記念展示

2023年
10月6日(金)
～10月25日(水)

会場

別府大学18号館
2階ギャラリーホール

学科を創設した教員、学生の両視点からの展示と、学科創設と、またその後も重要な役割を果たした博物館に光を当てながら、写真と学生たちの作った研究室雑誌を展示しました。



展示会場の様子



懐かしい! 歴代の先生方

地域の歴史・文化を未来へ

史学・文化財学科

創立
60年
since 1963

短期大学部 食物栄養科 准教授
東保 美香

Mika Tobo



研究室訪問

学びのトビラ

Vol.20

別府大学の学びの最先端をレポートします。

プロフィール

1980年8月生まれ、山口県出身。管理栄養士。2005年川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究所臨床栄養学専攻修士課程修了。修士(臨床栄養学)。専門は栄養教育、臨床栄養学。大学院修了後、南九州大学健康栄養学部管理栄養学科の助手として勤務し、2011年より本学に着任し現在に至る。



卒業生からもらった寄せ書きやアルバムは大切な宝物です。

生きる喜びや笑顔につながる食事づくりに向けて

安心・安全な
離乳食づくりを目指して

離乳食を教える授業や保育園等での給食提供にも生かせるように、乳児期の離乳食に関する研究をしています。離乳食は生後5、6か月頃から始まるため、子どもたちが安心して安全に食べられるように、摂食嚥下機能の発達に合わせた調理法について研究を進めています。乳児期にとって、誤嚥や窒息につながりやすい食材に注目し、食材のやわらかさ、飲み込みやすさなどを調べて、よりよい調理の方法を見出しています。最近では、乳児のりんごによる窒息事故も問題となっていることから、離乳食に適したりんごの調理法に関する研究を行っています。

保育園やこども園で働く卒業生も増えてきましたが、栄養士の職域は広く、様々なライフステージの方に食事を提供しています。どんな職域においても、対象者に寄り添い、生きる喜びや笑顔につながる食事づくりをするために、まずは自分自身の心と身体を大切に、学生生活を楽しんでほしいと思っています。

食生活を
見直すきっかけづくり

大学生になると、ひとり暮らしやアルバイトも始まり、食費を節約する学生も増えてきます。私も学生時代、実家から送られてくるお米と、たんばく源は卵や納豆に頼ることも増えて、

寝坊して朝食を抜く日もありました。「節約しても朝食は抜くべからず」を伝えるために、1年次の「栄養教育論実習」の授業では、食事調査や栄養価計算の方法を学びながら、自分自身の食生活を見直せるようにしています。

また、就職先として保育園の栄養士を希望する学生が多いことから、2年次の「応用栄養学実習」や「子どもの食と栄養」の授業では、私自身の出産や育児の経験なども踏まえて、妊娠期や乳幼児期の献立計画や調理実習の授業を行っています。食育実践の授業では、附属幼稚園の園児さんを対象に、学生たちが作製した教育媒体やレシビカードを使った調理実習にも取り組んでいます。食育活動では3歳児クラスから関わるため、最初は教えることに戸惑う学生も多いのですが、回数を重ねると接し方にも自信が現れてきます。

人生最初の
1000日が大切!

人生最初の1000日の栄養状態が、その後の発育や疾病のリスクに大きく影響すると言われています。「人生最初の1000日」とは、いつからいつまでのことでしょうか?と学生に問いかけると、「生まれてから3歳になる頃」と答えが返ってきます。もちろん、何歳になっても毎日の食事はとても重要なのですが、この「人生最初の」が示す意味は「妊娠期間」を力ウ

～ Other sides of Mika Tobo ～



■附属幼稚園での食育活動「もぐハビこどもキッチン」では、おにぎりづくりやさつまいもスイーツづくりを担当しています。■ゼミの学生と一緒に、様々な料理コンテストに向けて地元食材のアレンジレシピを考案中! 地獄蒸し料理や飲泉水を使ったレシピ開発にも取り組んでいます。■料理好き子どもたち! 父の日に「ドイツビールに合う料理」を一緒に考えて作りました。



ントしているということです。お腹の中で育つ期間も含めた2歳までの栄養状態が重要であり、このことは食料危機などを抱える国だけの問題ではないため、特に妊娠前からの栄養状態を良くしておくことが未来の子どものために大切なことだと伝えていきます。



脇田 慎也さん

短期大学部初等教育科、文学部国文学科 卒業

高森町立高森中学校 剣道部顧問(教務主任 国語担当)



剣道からつながる 出会いが成長へ



別大時代の剣道顧問の賀来先生とは今でも交流が続いています。

高校3年間の中で、教員になって剣道が続けたという想いが芽生え、小学校教諭を目指して初等教育科へ進学しました。

脇田さんは、埼玉県出身。熊本県に住む祖父の影響で、小学1年生から剣道をはじめました。小、中学校と稽古に励み、さらなる高みを目指し、高校は親元を離れ、祖父のいる熊本県の阿蘇高校へ進学しました。阿蘇高校剣道部は、全国でも屈指の強豪校。練習は厳しく、剣道に明け暮れる3年間でした。「寮生活で上下関係も厳しく、剣道人生の中で一番苦しかったのですが、人間的な成長ができました」と、振り返ります。

今年2月に杵築市文化体育館で開催された「全国豊春旗争奪中学校剣道大会」の会場に、令和5年の全国大会で優勝を果たした、熊本県の高森町立高森中学校剣道部の姿がありました。全国制覇の強豪校を率いるのは、剣道部顧問で本学卒業生の脇田慎也さんです。

へ進学。剣道部にも所属しました。

「剣道部顧問の賀来翼先生には、自主性を重視した指導で、自立心を育ててもらいました。また、クラスの担任の伊藤昭博先生には、入学早々、クラス長に指名され、学生生活に馴染むきっかけを作ってもらいました」と、脇田さん。先生や友人に恵まれた学生時代を過ごしました。

短大卒業後は、中学の教員も目指し、国文学科に編入。熊本県内の小学校の講師を経て採用され、現在は中学校へ赴任し、剣道部の顧問として生徒と一緒に稽古に励んでいます。「剣道を通じてたくさんの出会いがあり、その出会いが今の自分につながっています」と、脇田さん。生徒には「一つの出会いを大切に、伝えていきます。賀来先生と伊藤先生とは今でも交流が続いており、試合で別府に来る時には、連絡をするそう。」「別府は第3のふるさと。別府に来るとほっとします」と脇田さん。別府で待つ恩師の存在が、心の支えになっています。



伊藤先生の結婚祝いパーベキュー大会。赤いボロシャツの男性が当時の脇田さん。



山崎 潤也さん

文学部 史学・文化財学科 卒業

いづみ産業(豆の力屋) 豆腐製造部



民俗学で修得した知見で 妖怪研究を極める



イラスト付き解説が書かれた妖怪リストには、長年かけて集めた情報がぎっしり収録されています

地域文献を調べるうち、独力で妖怪リストを作り始めました」

令和5年10月、珍しいジャンルの『事典』が出版されました。『日本怪異妖怪事典 九州・沖縄』。524頁とズッシリした厚みの一冊には、九州・沖縄に伝わる妖怪や不思議な伝承話が丁寧に解説されています。古くから伝わる河童や天狗をはじめ、コロナ禍で話題を集めたアマビエや学校の怪談まで、千を超える妖怪話が網羅されています。

実はこの本の著者、闇の中のジェイとは、本学の史学・文化財学科卒業生の山崎潤也さんです。臼杵育ちの山崎さんは、幼少期から昆虫や海の生き物に興味を持っていました。そのうち妖怪が登場する絵本やアニメを好んで見るようになり、中学3年時に公開された映画『妖怪大戦争』に衝撃を受け、ますます妖怪の魅力に取り憑かれます。

「それまで水木しげる先生の漫画や言い伝えだけで知っていた妖怪たちが、想定を超える姿で飛び込んできたんです。こんな自由に表現していいんだ、どれだけの数の妖怪がいるんだろうと思うようになり、独力で妖怪リストを作り始めました」

「全国に妖怪話はありますが、それぞれの県民性はありません。ただし臼杵と竹田に似ている話があるとか体系づけていくと、地域で伝播していく姿が浮かび上がってきました」

地元・臼杵の『臼杵ミワリクラブ』で、妖怪仲間が広がり、本学卒業後は大分県全域の妖怪愛好会『豊妖組合』も発足。SNSで知り合った北海道在住の監修者との縁で本書の出版に至りました。

本学卒業後、妖怪研究にも余念がない山崎さん。「次は大分県に絞った妖怪事典を！」と意気込みます。



民俗学の恩師・段上達雄先生へ、渾身の著書を紹介する山崎さん



『日本怪異妖怪事典 九州・沖縄』(著者 闇の中のジェイ/笠間書院)



**卒業生が
67年ぶりに大学を訪問**

10月18日に、別府大学2期生の山之内幸枝さん(佐伯市在住)、吉武節子さん(杵築市在住)、久重サヨ子さん(東京都町田市在住)の3名が、卒業以来67年振りに大学を訪問してくれました。みなさんは国文学科のクラスメイトで、卒業後も交流を続けているそうです。

正門に到着すると、当時とは変わったキャンパスの様子に驚かれました。18号館の大学史展示室の見学していただき、創設者の佐藤義詮先生はじめ、当時の先生方のことや、大学の様子など貴重なお話を伺うことができました。

みなさんから「懐かしい、青春が戻ってきたみたい」「時間を戻してまた別府大学に通いたい」など、母校愛溢れるお言葉をいただきました。長い時間を経て色褪せない別府大学への想いを、しっかりと受け継いでいきたいと思っています。



**飯沼特任教授が
大分合同新聞文化賞を受賞**

史学・文化財学科の飯沼賢司特任教授は、大分県内の歴史研究の功績が認められ、令和5年度大分合同新聞文化賞を受賞しました。飯沼特任教授は、「古希の節目にこのような賞をいただきましたうれしい」と喜びを語りました。受賞を受け、2月3日に別府市内のホテルで祝賀会が行われ、大学関係者や地域の方約100名がお祝いにかけつけました。



**インターンシップに関する
協定を締結**

1月23日に、本学と別府商工会議所はインターンシップに関する協定を締結しました。これまでも1dayインターンシップなどを実施していましたが、今回の協定を機に、企画提案行動などの実務を経験できるようになります。学生の就業意識の高揚やキャリア形成を育む貴重な機会になることを期待しています。



**別府温泉の未来を考える
「別府ONSENアカデミア」**

11月23日、「ONSENアカデミア(別府市主催)」が別府ビーコンプラザで開催されました。「学生から見た温泉の現状とこれから」と題した研究発表では史学・文化財学科4年の重光宏哉さんが高校生とともに登壇し、温泉掃除を通して感じた別府温泉の現状や意見を述べました。これからの別府温泉の未来を考える貴重な機会となりました。



**大嶋名誉教授が
精神保健領域で受賞**

本学の大嶋美登子名誉教授が、県内の精神保健領域で多大な貢献をしたとして、令和5年度精神保健福祉事業功労者として日本精神保健福祉連盟会長表彰を受賞されました。大嶋先生は「一緒に活動された人たちの顔が思い出され、みなさんが喜んでくれている」と喜びを語りました。今回の受賞を機に、ますます活躍されることを願っています。

Be-NewsはHPでもご覧いただけます。

本学HPでは、下記ページにてBe-NewsのPDF版を公開しています。バックナンバーもご覧いただけます。

<https://www.beppu-u.ac.jp/general/pr/>

Be-Newsへのご意見ご要望がございましたら、下記までご連絡をお願いいたします。

別府大学・別府大学短期大学部 広報室
〒874-8501 大分県別府市北石垣82

TEL : 0977-66-6262 E-mail : koho@nm.beppu-u.ac.jp

今回から編集後記はじゃんけんを決めよう！ということになり、勝つ自信がありましたが一歩負けになりました。

さて、今回の特集は留学。私は前々職を辞めた勢いで、イギリスに留(遊)学しました。せっかくの機会なので、イタリアやスペイン、チエコ、フランスなど各地を訪ねました。高速バスみたいな気軽さが、飛行機が格安で各地とつながっていて、国を越える感覚が日本と違う！と驚いたものです。

留学に迷っている方は、学生時代にぜひチャレンジを！先輩たちの留学体験談が、みなさんの背中を押すものとなったら、うれしいです。(アジフライ)

編集後記

地域連携



別府と松山の交流を活性化 別府・松山連携交流プロジェクト

別府市と株式会社伊予銀行は、2019年9月に「観光振興連携に関する協定」を締結し、観光振興を軸とした地域活性化に取り組んでいます。その一環として、別府大学では、2021年度から松山短期大学と連携プロジェクトを実施しています。

今年度は、別府大学の学生12名が、9月から松山短期大学で後期開講の授業「デザイン・思考(担当:森田正大非常勤講師)」をオンラインで受講。ビジネスや社会における問題解決のための知識(デザイン思考・アート思考)を習得し、グループワークとして「別府と松山の交流活性化」の課題に取り組みました。講義では、別府・松山両市のご担当者や、Yamaide Art Officeの山出淳也氏にもお話いただきました。合同授業として、オンラインで交流しながら、両市の課題について意見交換も重ね、それぞれの提案をまとめていきました。

1月19日の最終の発表会では、両大学をオンラインでつなぎ7チームが発表。両市で竹芸が盛んなことから、「箸」をテーマに交流する案や、人気アニメとのコラボ企画などの案などが提案されました。

今回のプロジェクトを通じて、お互いの街のことを知ることはもちろんですが、自分たちが住む街の魅力を再発見することにもつながりました。



両大学をオンラインでつなぎ、成果発表会を実施



松山賞に選ばれたユニコーンチーム



プロジェクトにあわせ、「別府・松山交流展@鉄輪」も実施

“まつり”で作品展示 障がい者アート展「BEPPU Up in 別府大学」開催しました



一般社団法人DESIGNERS COMPANY Y.H2020(デザイナーズカンパニーユーツー、以下ユーツー)の主催で、障がい者アート展「Beppu Up in別府大学」を本学ギャラリーホールにて開催しました。本展は、別府から元気を届ける”をテーマにしたアートイベントで、本学では3回目の開催となります。

今回のテーマは「まつり」です。2023年は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され、各地でイベントなどの祭りごとが4年ぶり行われるようになりました。まつりは人を元気にし、街を活気づけます。今回は人間関係学科2年生とユーツーで共同制作した「鬼みこし」をはじめ、まつりをテーマにした作品が展示され、来場者に元気を届けました。石垣祭とも重なり、学内外からたくさんの方に会場へ足を運んでいただきました。

障がい者アート展「BEPPU Up in 別府大学」
開催期間 2023年11月3日(祝・金)～11日(土)
会場 別府大学佐藤義詮記念館2Fギャラリー